

# 平成31年度学校自己評価 評価基準表

海田町立海田南小学校  
平成31年4月

## 学校経営理念

- 子ども：「自分のよさが発揮でき、学習することが楽しいと感じることができる」学校
- 保護者・地域：「子どもを通わせてよかった、学校があってよかったと思える」学校
- 教職員：「持ち味が発揮でき、チームで動き、やりがいのある」学校

評価計画						
ビジョン(めざす姿)目標	評価項目(取組)	評価指標(目標値)	評価	最終結果補助指標		
か	考えぬく頭 自ら考え、『見方・考え方』を豊かにし、深い学びをする児童	1	カリキュラムマネジメントを行い、児童が深い学びをする課題発見・解決型の授業を行う。 「課題発見・解決学習」に関する児童意識調査の肯定的評価の割合	82.5%以上 80%以上 77.5%以上 77.5%未満	4 3 2 1	
		2	家庭・地域と連携した体験活動を生かした道徳科授業の推進を図る。 「道徳の授業のチェックリスト」の項目の平均達成数	10個 8個以上 5個以上 5個未満	4 3 2 1	
	学びのための習慣と基礎・基本の学力の定着した児童の育成	3	各種学力調査(全国・NRT・CRT等)の結果を分析し、課題を見つけて取り組む。 各種学力調査(全国・NRT・CRT等)の正答率30%未満の児童の割合	0% 10%未満 15%未満 15%以上	4 3 2 1	
		4	考えるノート指導、意味のある家庭学習の習慣を身につけさせ、基礎基本の学力の向上を図る。 職員室前掲示板に、児童の考えが見えるノートを掲示する学年ごとの月の枚数。	9枚以上 6枚以上 3枚以上 2枚以下	4 3 2 1	
		5	朝のぐんぐんタイムを活用し、音読や計算などを繰り返し行い、脳の活性化と基礎基本の学力の定着を図る。 各学年で指定した詩を覚えた児童の割合、及び計算プリントの正答率80%以上の児童の割合	85%以上 80%以上 75%以上 75%未満	4 3 2 1	
	進んで読書をする児童	6	児童が積極的に読書活動を進めるような図書館教育、家庭での読書の推進、及び委員会や学級指導を行う。 年間の図書の貸出冊数が60冊を越えた児童(読書名人)の割合	85%以上 80%以上 75%以上 75%未満	4 3 2 1	
い	意気高い心 自らを律しつつ、友達と協力し、人や物や場を大切にしている児童	7	児童会と連動した生活目標を実施し、整理整頓・あいさつ・無言清掃・無言集合を自分から進んで児童を育てる。 あいさつは、教職員・保護者・地域ボランティアの肯定的回答の割合。整理整頓・無言清掃・無言集合は、教職員の肯定的回答の割合。	80%以上 70%以上 60%以上 60%未満	4 3 2 1	
		8	音楽科で育てた声質や歌の姿勢を大切に、響きあう美しい歌声の児童を育てる。 音楽科以外学級で響きあう歌声(リコーダーを含む)で歌う回数	1日に2回以上 1日に1回 2日に1回以上 2日に1回以下	4 3 2 1	
		9	特別支援教育の取組を生かしたユニバーサルデザインの授業づくりを推進するとともに、力のつく交流及び共同学習等を実施する。 ユニバーサルデザインの学級経営チェックリストの項目の平均達成の割合及び交流連絡カードを用いて交流担任と連携を取って行った授業の数の割合。	80%以上 70%以上 60%以上 60%未満	4 3 2 1	
た	たくましい体 自ら体力の目標をもって向上させ、健康な生活を創る児童 人や自分の命を大切に、安全な生活を自分で創る児童	10	養護教諭・栄養教諭と協働した保健・食育の立案と推進を図る。 年間60時間以上(栄養教諭:40時間、養護教諭:20時間)担任と連携し、保健・食育の指導を行う。	50時間以上 40時間以上 30時間以上 20時間以上	4 3 2 1	
		11	体力テストの結果(H31年度)を受け、重点項目における体力の向上を図る。 各学年で重点項目を1つ決めて記録向上に取り組み、2学期終了までに2回目の測定を行う。その際、全国平均値を上回る学年(男女別)を10以上にする。	10以上～12 7～9 4～6 3以下	4 3 2 1	
		12	安全教育(保護者と連携した児童引渡し訓練、必然性のある避難訓練、防犯教室、スマホ教室等)、教職員の危機管理対応研修を通して、安全に気をつけた行動のとれる児童を育てる。 改善を次に生かす職員研修を、講師を招聘し行う。 4回以上 3回 2回 1回以下	4 3 2 1		
みなぎる ・みんなの力で	組織的に、かつ協働することで、活力ある教育活動を展開し、保護者や地域に信頼される学校	13	丁寧な家庭連携、地域行事への積極的な参加を通して、地域・保護者に信頼される教職員集団をめざす。 保護者アンケートにおいて、「信頼される学校」に関する項目の肯定的評価の割合を80%以上。	90%以上 80%以上 80%未満 70%以下	4 3 2 1	
		14	タイムマネジメントで仕事を行うことを通して、退校時刻を守り、見通しをもって仕事ができる教職員集団をめざす。 毎月3回以上、退校時刻を守ることができた教職員の割合を80%以上。	90%以上 80%以上 80%未満 70%以下	4 3 2 1	